

# 杨凌体育

発行所 柏崎体育団

編集者 近 藤 康 信

印刷所 (株)柏崎インサツ



# あいさつ

柏崎体育団団長

高橋

保

あ  
し  
あ  
と

柏崎体育団長として故月橋前  
団長の後任として2期4年が終

責を担うことになりました。幸い多くの立派な役員の皆様に支えられて「意気・活気・元氣そして挑戦・汗と感動」をキヤツチフレーズに、一、強い選手の育成。二、市民スポーツの振興。

スポーツの生むドラマに感動し、応援合戦に興奮してスポーツへの関心も一段と高まりました。国際的なステージで頂点を極めるためには、競技水準の高さだけでなくメンタルな面も含め、人智を超えた爆発的エネルギーが必須条件であるということを痛感しました。

三、組織の充実を三大目標に据えて活動を進めてまいりました。明年の一九九九年に柏崎体育団は喜寿を迎えます。人間には、その年齢に相応しい生き方が理想でしょうが当団もその伝統に相応した内容と新世代に対応できる体制に成長しなければ、先人の偉業を辱め徒らに馬鹿を重

その国際的大行事が4年後に新潟市の会場で開催され、世界の中からあのエネルギーが集つてくるのかと思うと胸が熱くなり、千載一遇の好機に恵まれたことを素直に喜び同時に世界の檜舞台で活躍する選手を柏崎からも送りたいと夢も大きく広がります。

ねたの謗を免れないでしょう。21世紀のスポーツプランや展望をもち豊かな暮らしを支援できる高邁な理想をもったスポーツ集団たらん意気をも必要であります。

強い選手の育成を目指し各種  
技団体が行っているジュニア養  
成もようやく萌芽し、その成果  
が挙がっている事は嬉しい限り  
であります。特筆すべきは今夏  
のインターハイ出場を決めた柏

さて、平成超不況時代、社会は混迷を深めておりますがスポーツ界だけは活力に溢れ、冬季長野オリンピックやフランスのワールドサッカー大会では世界中が

商女子バレー部の快挙です。関係者の努力に敬意を表し本大会までの活躍を期待しております。

いただき21世紀へのメッセージをこめた浄財を賜りますようお願い申し上げます。

新年度の役員・団員一同は柏崎地方のスポーツ振興の先達として明るく豊かな街つくりに大きく貢献してまいりたい所存であります。

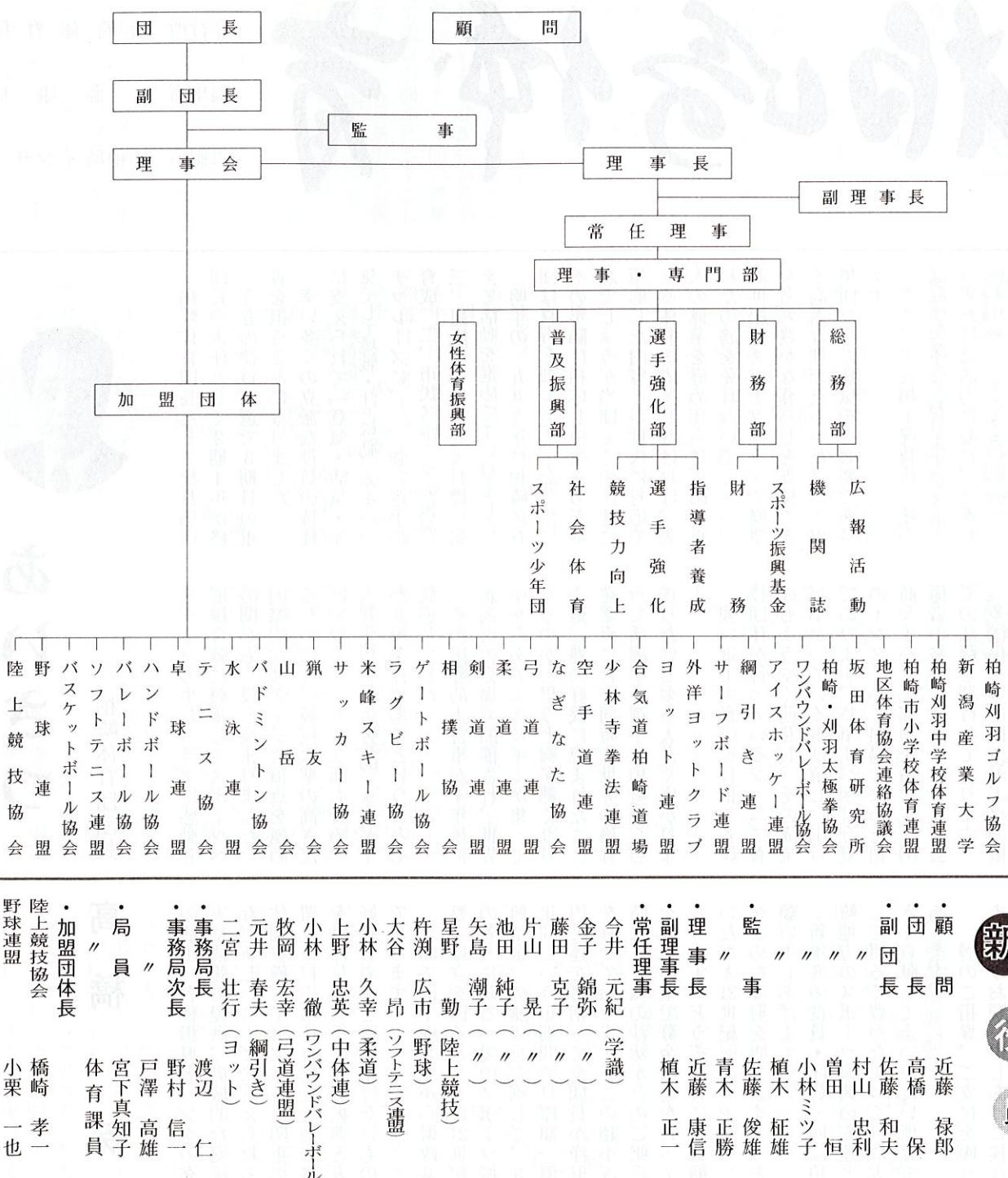
一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げご挨拶といたします。

盤の確立を図るとともに21世紀の若人に贈る「愛のスポーツ振興基金」の醸成を企画して、3年間という短期間で目標額一億円必達を目指して全団員が浄財を募っております。この超不況時代に狂気の沙汰かとのご叱責を覚悟の上で募金活動を行つております。どうぞ趣旨にご賛同

の活用)各種指導者バンクの充実や情報の提供、広域的な交流など新しいニーズに応えられる体制整備も不可欠、特に関東の盟友東村山市体育協会との密接な連携を軸に生涯スポーツの振興と良好な親善の実を更に挙げたいものであります。

1	元朝体操
21	県体育協会新年会出席
21	新春体育懇親会
21	「柏崎体育」一二六号発行
27	O B V 協会メロウグラノブリュニーケ賞受賞
2	東村山体協新年会出席
2	県コーチサミット出席
7	優秀体育人表彰
15	テーピング講習会（坂田体育研究所）
20	スポーツ少年団指導者協議会評議員会出席
3	事務局会議－新年度対応について
9	県体協市町村連絡会議
17	常任理事会
18	スポ少委員会総会出席
18	県体協評議員会出席
4	会計監査
15	理事会－九年度事業報告・反省等
5	スポ少理事会代議員会
7	理事会－役員選出等
7	スポ少委員会出席
4	会計監査
14	理事会－九年度事業報告・反省等
15	スポ少理事会代議員会
15	理事会－役員選出等
27	常任理事会－十年度事業展開・専門部活動等
10	加盟団体長会議
11	選手強化部会
11	合同専門部会
17	女性体育・スポーツ振興部会

( 柏崎体育団組織図 )



加盟団体長を除く役員の任期  
自H12月31日



## 副団長就任にあたり

体育施設管理公社  
理事長

**植木征雄**

真夏日の暑さ厳しい候となり  
海も山もいよいよ賑やかになつ  
てまいりました。

先般の理事会に於いて副団長  
に推せん戴き責任の重大さを感  
じておるところであります。私  
は昨年四月より体育施設管理公  
社の理事長に就任し陸上競技場、  
アクリアパーク等十余の施設の管

理、運営に当っております。常  
日頃より体育団関係者の皆様を  
始め各種スポーツ団体、地区体  
協、そして多くの市民の皆様よ  
り体育施設の御利用を戴き感謝  
申し上げておるところであります。  
す。きれいな施設、使いやすい  
施設、そして利用者から感謝さ  
れる運営をモットーとして職員



## 監事新任のあいさつ

**佐藤俊雄**

世界では、四年に一度開催さ  
れるW杯で日本が初出場し、期  
待を抱いたが残念ながら世界で  
は通用せず、地元フランスが優  
勝し熱狂的な中でフィナーレと  
なった。いよいよ二〇〇二年の  
日本・韓国開催が楽しみとなっ  
てきた。

地元柏崎では、柏商女子バレー

部が県大会優勝、インターハイ  
に初出場、また田尻小学校男子  
がミニバスケットボール県大会  
で優勝、明るいニュースが聞か  
れ嬉しい限りである。

柏崎体育団の基本方針「強い  
選手の育成強化」を実践したの  
が柏商女子バレー部であり、ま  
た「市民スポーツの普及振興」

が田尻小のミニバスであり、社  
会体育の一貫として指導されて  
いると聞いています。

このように七十五年余の歴史  
と伝統を有し、三十九加盟団体  
に支えられた柏崎体育団の監事を  
仰せつかり光榮に思っている。

体育指導員二期のキャリアし  
かない私にとって荷の重い職務  
であります。監事として皆様の活  
動に少しでもお役に立てる  
よう精一杯頑張りますので、ご  
指導ご鞭撻をお願いいたします。

実現は苦しく、遠い。時間と環

## 団体紹介

サッカー協会

「小学生から壮年まで」  
地域に根っこ張る  
サッカー協会

会長 近藤 康信

協会登録チーム	大学	2、高校	6、中学	4、クラブ	2
一般	6	5	10	10	10

(平成10年5月現在)

◎協会主催の主な年間行事

- 24回柏崎サッカーリーグ
- 2回柏崎ジュニアリーグ
- 15回柏崎サッカー選手権
- 15回柏崎ミニサッカー
- 10回日報杯小学生サッカー
- 5回コンドウカップサッカー
- 5回中学生ミニサッカー
- 12回小学生サッカースクール
- ◎協会は24才。今、血氣盛ん
- ・サッカーの面白さと夢を子ども達へ
- ・地域クラブ育成と市民スポーツへの定着
- ・組織の充実と創意ある事業など、従来の学校依存から地域の子どもと社会人を対象にした「市民スポーツ」を夢み、頑張ってきた。

## 介



境が必要だ。若い協会なるが故に、会長以下役員各位は一人幾役も、普及員、指導員、そして、プレイヤーとして、孤軍奮闘。「好きこそ」の諺もあるが、組織人としての一人ひとりのやる気、ハングリースピリットが協会を支えている。

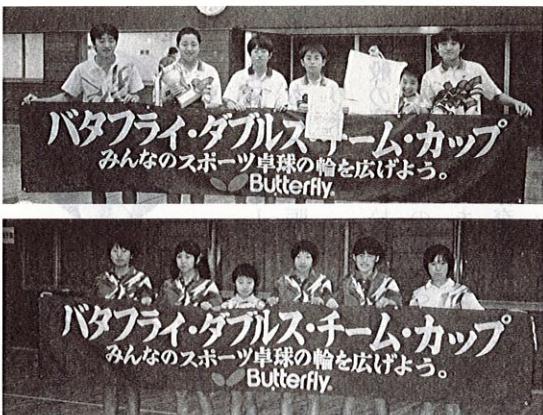
全国壮年サッカーで大活躍のシニア選手、県社会人リーグで修業の若手三チームは地域を代表する強力軍団だが、実業団チームも成長株。更に今年誕生の中学生クラブチームは、小学生のジュニアクラブと兄弟チーム、積み上げ方式で本格派をねらう。一点が大変なサッカー、やるべきことも多い。組織プレーヤーも個人突破もゴールは一つ。市民と共にキック＆ダッシュ。

## 卓球連盟

## 更なる発展へ

柏崎卓球連盟

有坂 和二



総合体育館での練習に、卓球教室に、各種大会に象徴されるように柏崎地域の卓球人口は確かに増加しています。楽しむ卓球からトップを目指す卓球まで老若男女を問わず五才ぐらいから八十才台まで幅広く取り組んでいる姿は笑えます。仲間意識を大きく育んでいます。

近年、連盟の組織が充実し、その活動と併せてクラブの組織・部活動も熱が入ってきて各種大会での好成績につながっています。これは、職場関係や結婚で県外から実績のある方々の流入、地

元出身で活躍した選手のUターンで常に産業大学の卓球部強化が常に刺激と活性化を与えてくれているのも大きい。

平成九年度の柏崎体育団表彰で受賞者がトップになれたのもすべてを総合した結果だと考えています。

しかし、活動が活発化すればするほどに課題も多く出てきているのは事実です。特に、響力が大きい。即ステッキの影響が見られ自分の適性などと考えていない。親の理解そのものである。

○中高校では、親の過大期待、技術面での壁、学習との両立などで卓球から離れる傾向が見られる。指導者の不足から卓球環境を求める市外、県外流出も目立つ。

今年度から「柏崎卓球スポーツ少年団」を結成し、課題解決の糸口になればと考えています。各種研修会や講習会はかなりあります。それに積極的に参加し、情熱ある指導者との育成も大きな課題解決です。

ジュニア育成は、健全育成が基盤であります。保護者と一緒に共存意識が真の目標達成に近づくと考えます。

## 獣友会

新潟県獣友会柏崎支部

支部長 金子 錦弥

私達獣友会についての紹介と

いう事でパンをとりました。

人類は本来から狩猟民族、農耕民族、漁労民族にわかれるといわれ、特に狩猟においては古来よりその獣具に工夫がなされてきました。

その獣具は最初は石ころであったり、棒切れであったりしたものが斧になったり刀になったり弓になったりしてきました。

しかし獣具の一番の革命は鉄砲であります。

銃の発明により狩猟はめざましい発展をとげました。当然獲物に命中させる為には練習が欠かせないわけですから、最初は手で標的をなげていたものが、機械化されて、現在のクレー射撃へと発達して来たわけです。

青空に飛び出すオレンジ色のクレー(皿)に向って引金を引く快感は何物にも変えられません。

毎年十一月十五日の日の出と



## 『柏崎市民スポーツ振興基金』

目標額1億円 募集中!

1人、一口 ¥1,000以上

個人、団体、法人等問わず

納入先:事務局

①教育委員会体育課内(野村)

②総合体育館内(宮下)

## 事業計画

4・15・14 会計監査  
理事会—九年度事業報告・反省等

5・7・30 理事会—役員選出等  
常任理事会—十年度事業展開・専門部活動等

6・15 合同専門部会  
加盟団体長会議

8・22～23 東村山市ソフトテニス来柏

9・26～28 北陸バケットボール選手権大会

11・14 コーチングサミット  
(指導者研修会)

14～15 テニス、東村山へ遠征

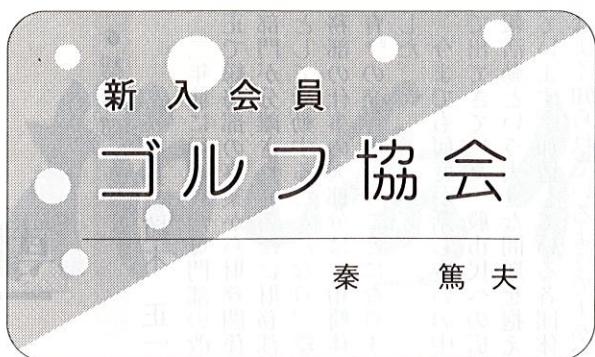
12 H11 新春体育懇親会  
理事会—体育人表彰等

3・2・6 1・22 優秀体育人表彰  
理事会—総括と新年度計画

会員は現在約一五〇名、各分科会員は年中山の中をかけ回っておりますので、環境汚染(獲物に影響する)、災害(地すべり、雪崩など)等にも常に気をくばり、又空カン、ごみの持ち帰り等も徹底しています。

会員は現在約一五〇名、各分科会員は年中山の中をかけ回っておりますので、環境汚染(獲物に影響する)、災害(地すべり、雪崩など)等にも常に気をくばり、又空カン、ごみの持ち帰り等も徹底しています。

本年は七月十七日に長岡市で安全を第一にした、全国大会が開催されますが、銃は銃刀法で獣は狩猟法でとスポーツの中でもルールの他に二つの法律にしばられているのは獣友会だけではないかと思っています。



七月十三日第一回柏崎刈羽アマチュアゴルフ大会が開催されました。一七九名が参加され好天気に恵まれゴルフを楽しんでいただきました。女性の華やかな姿が多く見受けられたのも印象的でした。プレー終了後のレッスン会にも多数の方が参加されました。一般、シニア、レディースそれぞれの入賞者の表彰式パーティも拍手と笑いにつつまれて和やかなうちに一日が終りました。今回は協会結成後最初の競技会という事で会員の顔合せと親睦を主眼にペリア方法算定競技となりましたが今後は地区対抗、職場対抗とかアマチュアゴルフ選手権など色々な形の大會を計画して居ります。

ゴルフは子供から老人迄男女も楽しめる国民的スポーツとして国体の正式種目に参加が認められました。柏崎刈羽には四つのゴルフ場があり愛好者の質も量も新潟県内でトップレベルにあります。がけてゴルフ協会が出来ました。皆んなと一緒にゴルフを楽しもう、もっと多くの人に楽しんでもらおうという事です。

ゴルフは二面性を持つたスポーツで、健康やストレス発散を目的としてゆっくり楽しもうといふ論細かい技術や強い精神力が要求される闘いの中で自分の力

を伸ばして行きたいと願う競技指向タイプが有ります。協会には普及振興部門と指導強化部門が有りますが、誰でも少しでも上手くなりたいと思うのが当然で、一部の選手にのみかたることなく両部門協力し合って皆のレベルアップを図って参りたいと思って居ます。

ゴルフにも当然厳しいルールが有りますが自分で裁定する点が他の競技にない独特な所で、その上エチケットやマナーも求められます。技術の向上ばかりでなく多方面の指導も心がけて皆さんに素晴らしいゴルファーになつて顶ける様に協力したい、将来の名選手を生み出す為にジュニアの育成にも力を入れたい、等々大きな夢と希望を持つて頑張りたいと思って居ます。

きっと、そのうちに日本のタイガー・ウッズやパク・セリがここ柏崎刈羽地区から世界へ向けてはばたきますよ。昭和21年に産声を上げたバレーボール協会の創立50周年記念事業を、昨年平成9年12月に行いました。事業の目玉は、記念誌の発行でした。一口に50年と言いますが、語れば長く一言や二言で言い現わすことは、決してできません。協会設立当時の大先輩西澤・松田先生のお元気なうちに、是非50周年をやりなさいという助言を得て、実行に踏み切りました。記録や資料はあるようないものとして、資料収集に苦労しました。体育団の機関紙「柏崎体育」を一日がかりでコピーして、それを抜粋して年代順にまとめ一覧表にしました。その項目の多い事。様々な事があったようです。そして、その一つ一つに先輩の汗の跡がみえるようでした。協会の50年の歴史を残し、その中の随所に言葉のスナップを入れることもできたようです。50年をまとめ上げることは、大変だったと思いますが、それ以上に先輩達の難儀は、筆舌に尽し難いことだつたと思います。あらためて、先輩の努力に敬意を表します。



記念事業を終えて

**創立50周年**  
記念事業を終えて  
理事長 荒木 邦栄

中学生、高校生、大学と広まりつつあるバレーボールの一層の強化と、家庭婦人バレーボール、ソフトバレーボールにいかにつなげ、普及拡大させていくかと、いう事だと思います。一時のようす。全日本から底辺に至るすべてにわたってであります。そんな中、柏崎では柏商女子が県高校総合大会で43年ぶりに優勝、まさに快挙であります。50周年記念事業の翌年に、幸先の良いことであります。協会もこれにあやかり、しっかりと足を地につけ、一步一歩進んでいきます。そんな事を思う今日この頃であります。



